

▲ 株式会社キーベックス

変化に柔軟に対応し、新規事業で成長を続ける「保管のエキスパート」企業 ——書類保管ビジネス、5温度帯倉庫など多様な顧客ニーズに応える

ここに
注目!

「儲かるわけがない」と反対された新ビジネスが次々に成功
ライバルの追隨を許さない迅速な経営判断

「倉庫」は古くから存在した、人間の生活に欠かせないインフラだ。現存する最古の倉庫としては奈良の正倉院が有名だが、約5000年前に縄文人が暮らしていた青森の三内丸山遺跡にも高床式倉庫とみられる痕跡が残っている。つまり倉庫業は人類最古の事業ともいえる。それだけに伝統的な倉庫業で、いかに変化できるかが成長のカギとなる。株式会社キーベックスは、そうした取り組

みのトップランナーだ。

創業は1984年5月。東京に本社を置く隅田倉庫の千葉営業所から「隅田倉庫運輸」とし独立した。そのきっかけは、齊藤宏会長が書類保管ビジネスへの参入を考えたこと。当時、隅田倉庫の社長は「企業が大事な書類を外部に預けるとは考えにくい」と提案を却下。齊藤会長が独立し、自らの手で事業を立ち上げることになった。当時は書類保管を引き受ける

倉庫がなかったため、地道な営業活動の末、予想を上回る取引を獲得する。

2代続けて「自己責任」で新規事業に挑戦

1992年1月には、社名を現在の「キーベックス」に改めた。その由来は「Keep（保管）」と「Express（速達）」を組み合わせた造語だ。その名の通り同社の強みは、保管をベースにした新規事業を即断即決で展開していること。2016年に前社長の齊藤宏氏が菓子メーカーから「冷凍・冷蔵・常温の倉庫がバラバラでトラックが三つの倉庫を回らなくてはいけないため、配送業務に時間がかかる」との悩みを聞いた。「ならば冷凍・冷蔵・常温の倉庫を一カ所にまとめて建てればいけないか」と思いつき、当時の専務だった齊藤進氏に話をする。

専務だった進氏は「リスクが高いから止めた方がいい」と反対した。保管温度帯が違う倉庫を建設するとなると、20億円もの資金が必要となり、同社としては過去最高額の新規投資だ。社員も反対した。温度管理が必要な冷凍・冷蔵倉庫は24時間365日の管理が必要になる。それまでになかった深夜休日出勤が求められるからだ。おりしも同社の業績は順調。「儲かっているのに、リスクを冒してまで面倒な新規事業に乗り出す必要はない」というのが社内外の意見だった。反対していた進氏に「お前が決める、もちろんやめてもよいぞ」との言葉で気がつい



130万箱の収容能力を持った地震に強い電動ラックを採用



病院カルテ、個人情報の含まれた書類等、安心して保管できる



ナンバーを自動認識し、事前登録の車両のみ入構できるセキュリティで保管品を厳重管理



2019年に新設した5温度帯倉庫（冷凍・冷蔵・冷温・定温・常温）。免振構造で強固な保管環境



お客様第一主義をモットーに、全社一丸となり業務に散り組んでいる

た。

「業績が悪くなってからでは手遅れ。好業績のうちに新規参入のリスクを取るべきだ」と腹を決めて新規事業に参入したのである。2017年4月には進氏が社長に就任。2019年2月に開設した冷凍・冷蔵・常温など五つの温度帯に対応する千葉センター第二倉庫は受注も好調で、すでに軌道に乗っている。

分社化で新規事業の成長を加速

主力の書類保管業もペーパーレス化で厳しくなるのは確実。キー

ボックスは同事業が重荷になってきた同業他社から書類を引き受けるアウトソーシングに乗り出し、業界内でのシェアを上げる生き残り策を展開している。併せて五温度帯倉庫のような新たなニーズを開拓していく必要がある。齊藤社長は「これからも保管をベースにした新規事業に挑戦していく。そのために重要なのはスピード。世の中の変化をいち早くキャッチして、とりあえずやってみる。間違っていると分かったら、直ちに修正すればよい」と話す。

今後は危険物や個人向けの保管業務での新規事業を検討する。個

人向けでは2007年に参入したコインランドリー併設型トランクルーム事業を分社化して、2019年6月に「コンボックス」を設立した。新会社の社長には同事業を担当している管理職が就任した。社長になることで社員にやりがいを持たせ、事業の成長につなげるのが狙い。将来は新規事業だけでなく、既存事業も分社化し、持株会社がグループ全体の方向性と経営資源の適正配分を決める体制へ移行する。歴史が古い倉庫業界で変化と成長を加速するため、キーボックスは新たな進化の段階に入った。

「わが社」を語る

代表取締役
齊藤 進氏



「できない」といわず、どうすればできるかを考える

保管・配送・書類保管関連サービスを手がけて40年近い歴史がありますが、100年間社会に認められる会社を目指しています。そのためにお客様第一主義を貫く。お客様の要望に応えるためには「できない」といわず、どうすればできるかを考えなくてはなりません。チャレンジ精神を持って世の中の変化に対応する「対応業」を目指したい。仕事には「考え方・熱意・能

力」が必要ですが、わが社は考え方を重視しています。考え方が異なるとベクトルを合わせられなくなるからで。まずはやってみようという全員が一丸となって取り組む組織づくりを進めています。ヒト・モノ・カネが潤沢ではない中小企業だからこそ、スピード感を持っているいろいろな挑戦ができるのも魅力です。

会社 DATA

所在地：千葉市中央区中央港2-4-4
 設立：1984（昭和59）年5月31日
 代表者：齊藤 進
 資本金：9千9百60万円
 売上高：15億5千2百万円（2020年5月期）
 従業員数：72名（2020年11月現在）
 事業内容：保管業務、配送業務、書類保管関連サービス（書類溶解処理サービス、文書保存箱の販売、書類電子化サービス）
 URL：<https://www.keepex.co.jp/>

